
君へ.....その後

畑野いよかん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君へ……その後

【Nコード】

N4366N

【作者名】

畑野いよかん

【あらすじ】

薫、美穂子、康之のその後。

極短編です。

俺、柏木薫。

『風薫る季節』に生まれたから、男なのに「薫」なんて名前を付けられた。この名前のせいで、ガキの頃はよくいじめられ、幼なじみの美穂子には「薫ちゃん」なんて呼ばれていた。俺はこの名前が大嫌いだった。

よくいじめられて泣いていたので幼なじみの康之と空手に通い始めた。三日坊主の俺が今でも通っている。我ながらよく続けていたなと関心する。

幼なじみの康之とはよくけんかをした。けんかの原因はたいいてい美穂子の事。俺も康之もガキの頃から美穂子の事が好きだった。なかでも中坊の頃にしたけんかはそれはひどいもんだった。最初は冗談まじりの小突き合いだったのが、お互い熱くなり過ぎて加減が出来なくなつて結果、2人とも入院という事態になつてしまった事がある。もちろん美穂子はけんかの原因は知らない。俺と康之2人だけの秘密にしている。

その後三人同じ高校に入り、俺はちよつと横道に逸れてしまった時も、美穂子は変わらず俺に接してくれた。一年前には仕事中に事故に遭い三ヶ月入院する事があつた時は康之と美穂子には迷惑をかけた。特に美穂子にはすげー世話になつた。

そんなこともあり、俺は美穂子への気持ちが高くなつたわけだ。半年前に美穂子と結婚した。

あんなに嫌いだった「薫」と言う名前。
いまは、美穂子と呼んでくれる「薫ちゃん」という声心地いい。

あたし岡野美穂子……じゃなかった。

昨年幼なじみの薫ちゃんと結婚して「柏木美穂子」になりました。

薫ちゃんと康之はあたしが小二の時に引越して来て以来の幼なじみ。三人はそれから未だにずっと仲良しなんだ。

実は高2の時から短大を卒業するまであたしは康之とつき合ってたの。でも、康之とつき合ってた頃も康之と2人にいるより、薫ちゃんを入れた3人でいる事の方が多かったかな。

康之はあたしの事を大切にしたいと言って成人するまで清い仲って言ったら古いか。エッチはしなかったの。短大卒業前に康之と結ばれたんだけど、あの時あたしは緊張でかなり震えていて、康之がリードしてくれてうれしかった。でも、後で聞いたんだけど、あの時康之もかなり緊張していたんだって。そんな康之が大好きだったけど、その後別れてしまった。でもつき合う前の頃にに戻っただけ。その後も康之と薫ちゃんとあたしは3人よく遊んでた。

二年前、薫ちゃんが仕事中に事故に遭い大変だったとき、あたしはおばさんの代わりに薫ちゃんの病院へよく行っていた。退院後しばらくして薫ちゃんにプロポーズされた。あたしは結婚の事で康之に相談しに行った。薫ちゃんも相談しにきていたみたい。

結婚後も小さな事でけんかをし康之に相談ばかりしていたあたしたち。ある日、2人揃って康之に呼び出されて説教された。「夫婦

の問題は夫婦で解決しろ」って。前にも言っただけど康之は怒るものすごく恐いの。普段はすごく温厚なのにね。薫ちゃんと2人で「康之は二重人格だ」って言ってたんだ。

俺は沢田康之。薫と美穂子とは幼なじみの腐れ縁。

そんな2人はいまや二児の親。今年二才になる長男は薫にそっくりだ。そんな長男に薫達は俺の事を「康之おじちゃん」なんて教えている。

おじちゃん？俺はおじさんでもないし、それにまだ独身だ！

「おじちゃんではなくお兄ちゃんだぞ」と長男に教え込み、そのせいかは知らないが最近しゃべりだした長男が俺を「にいにい」と呼んでくれる。でかした長男！

長女は美穂子に似て可愛らしい。と言ってもまだ生まれて数ヶ月……。将来は美穂子に似て可愛らしく、そしておてんばになるんだろう。気の強いところは似ないように今から祈っておこう。

『初恋は実らない』そんな事を言う人がいるが、俺も例外ではないが、薫は初恋を实らせた。

そんな俺は、いまつき合っている女性がいる。一つ年上の女性だ。こんな事彼女には言えないが、彼女はどことなく美穂子に似ている。雰囲気か性格か顔か？何処が？と言われたら困るが何となくなので……。

まあ、この話は今度ゆっくり。では。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4366n/>

君へ.....その後

2010年10月9日10時23分発行